

対象製品番

G17SS□/G17BS□

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、  
正しくご使用下さい。

- お客様へ  
お読みになった後は、お使いになる方が  
いつでも読める所に必ず保管して下さい。
- 工事店様へ  
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

## 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

### 注意

- 修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 配管の深さは各自自治体ごとに決まり（凍結深度）がございませす。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
- 散水用です。飲用などの用途には使用できません。

## 適切な使用条件

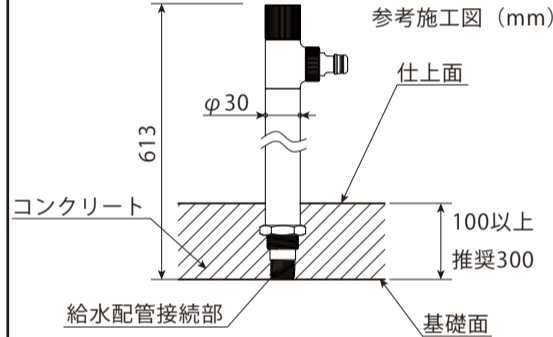
給水圧力	最低必要水圧（流動時） 0.05MPa	最高使用水圧（静止時） 0.75MPa
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	
用途	散水用	

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧して下さい。

## 施工手順

### 1 設置場所の確認-給水配管の位置を確認する。

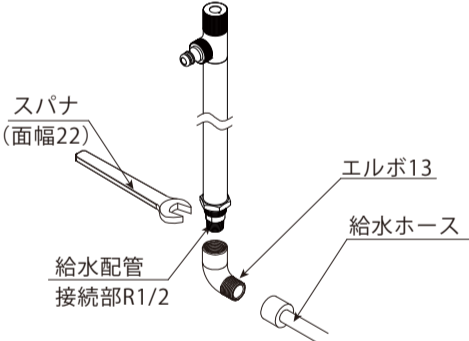
参考施工図 (mm)



### 注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- PC板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自自治体ごとに決まり（凍結深度）がございませす。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

### 2 水栓柱の取付け-水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



### 注意

- 接続の際は、給水配管接続部が回らないよう、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。
- 取付け前、取付け後には必ず通水し、配管のゴミを洗い流して下さい。（フラッシング）  
※フラッシング不足に起因する水漏れや破損は、保証期間内でも有料修理となります。施工後数日~数ヶ月で、『水が出ない』『止まらない』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により、『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まるため』です。

### 3 通水確認

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

- このとき、確実にフラッシングを行ってください。  
フラッシング：蛇口を全開し、約30~60秒間勢よく通水を行ってください。

## ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

### 警告

- 小さいお子様だけの使用は、避けて下さい。やけど・けがをするおそれがあります。

### 注意

- 製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水栓より少量の水を出して下さい。  
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）

- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。

少量の水を出すなど



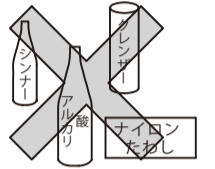
## 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つ場合は、お湯(40℃)で薄めた中性洗剤で軽く拭き取り、その後よく水拭きしてから、布で乾拭きして下さい。

### 注意

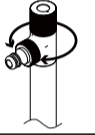
- 次のものは使用しないで下さい。変色や傷みのおそれがあります。
  - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
    - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
  - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
  - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤 ●ナイロンたわしなど



## 定期的な点検：稼働部の確認

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あかが固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

- 月1回を目安に、定期的に吐水口を回して下さい。吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。



## 定期的な点検：配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

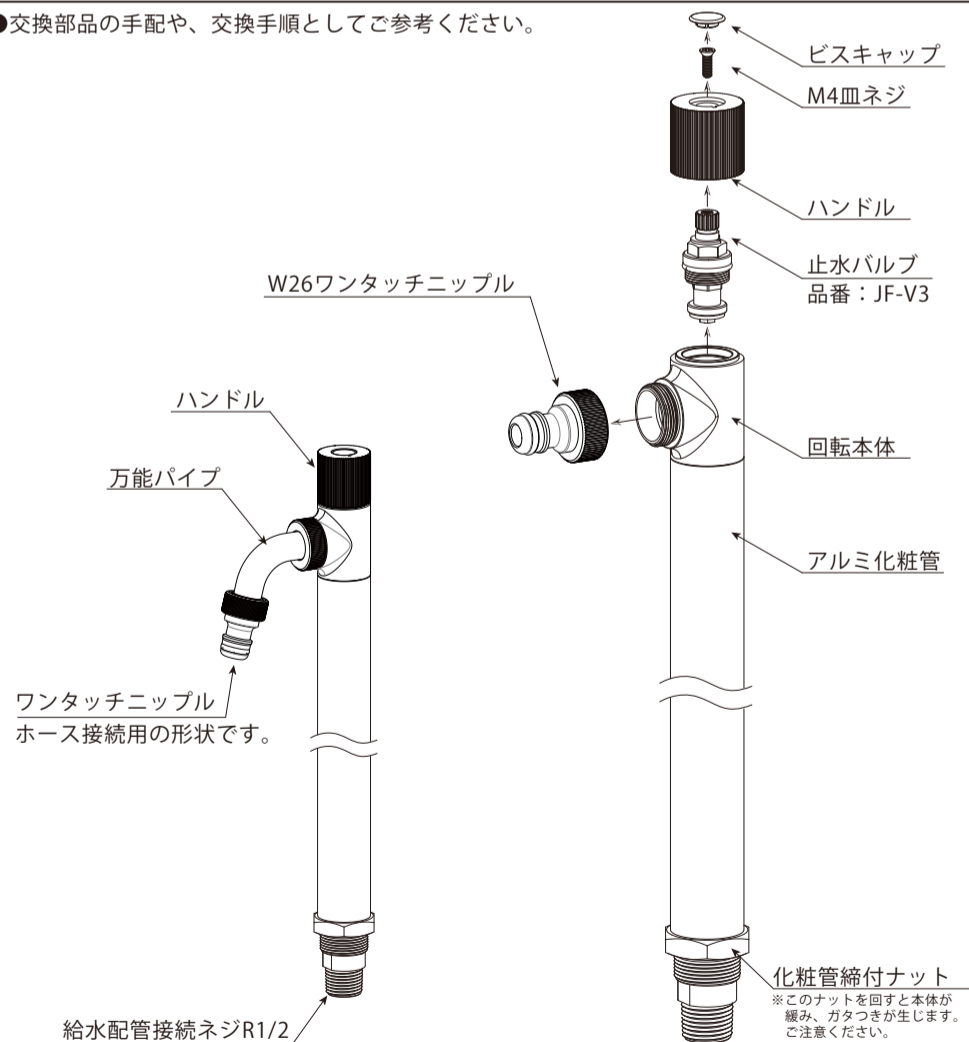
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。（年2回を目安）定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。（年2回を目安）劣化・磨耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。

## 各部の名称

- 交換部品の手配や、交換手順としてご参考ください。



スプリンクルスリム 3D

スプリンクルスリム  
分解図

【お客様窓口】 開発部 TEL：0581-23-0570  
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬94-2  
受付時間 9：00~17：00（土・日・祝日は除く）  
URL <https://www.mizsei.co.jp/>